

若手の会 通信

会長挨拶

柴田 あいか (立命館大学)

新たに若手の会の代表を務めさせていただくことになりました, 立命館大学の柴田 あいかと申します. 副会長に就任された神戸大学の小林 真弓さんと共に, 新役員も増えて新体制となった原生生物学会若手の会を盛り上げていきたいです. 若手ならではの活動を積極的に行っていきたいと考えていますので, よろしくお願ひいたします.

私はミドリゾウリムシに共生するクロレラについて研究を行っており, 研究対象は主に緑藻ですが不思議でかわいい原生生物がみんな好きです. 私は 2014 年度から若手の会役員として参加しており, 若手の会の活動を通じていろいろな人と出会ったり, 新しいことを教えてもらったり素敵な機会を与えてもらいました. そこで, 今度は自分が中心となって, そのような機会を作っていきたいです. そのために, 若手の会役員にとどまらず, 若手研究者のみんなで参加できる企画を設け活動をもりあげていきたいので, 若手の皆様ご参加どうぞよろしくお願いいたします. そして, ベテランの先生方も若手への協力とアドバイスをどうぞよろしくお願いいたします.

「原生生物学会若手の会合宿 2017 in 淡路島」のご報告

樋口 里樹 (神戸大学)

2017 年 8 月 17-18 日, 淡路島にある神戸大学内海域環境教育研究センターマリンスイトにて若手の会の合宿を行いました. 原生生物を対象にする若手研究者たちの交流を目的とし, 1 日目には各々の研究紹介とディスカッション, 2 日目には野外でのサンプリングとプランクトンの同定をしました.

神戸三宮から高速バスで約 1 時間, 淡路島の北端近くにマリンスイトは位置します. 合宿の日は, 東京で記録的な長雨が続けていた時期でしたが, 淡路島は晴天に恵まれ施設の目の前には海が広がっていて, 夏を絵に描いたような環境でした. 参加者は 7 大学から教員 3 名, ポスドク 3 名, 学生 9 名の計 15 名が集まりました. 若手の会の役員を中心に人伝に集めたメンバーだったので, 原生生物学会の本会に参加したことがな



若手の会合宿 2017 in 淡路島

い人も多く, 参加者同士のほとんどは初対面で新鮮でした.

1 日目の研究紹介では, 1 人 15 分の持ち時間でしたが, しばしば議論が白熱し, 終了予定時刻を 1 時間以上過ぎるほどでした. 全員が原生生物を研究しているといっても, 扱っている生物は繊毛虫, 藻類, アメーバ, 太陽虫と様々で分野也多岐にわたっており, 意見を交わすことで新たな刺激を受けることができました. 学生がほとんどだったこともあり, ざつくばらんなやり取りができ, 研究を始めて数か月の学部生でも研究背景や方針をしっかりと発表し議論にも参加していました.

2 日目にはマリンスイト周辺の淡水 (大谷池, 北畑池, 中持) と海水 (岩屋港) を採集し, マリンスイトの実験室で顕微鏡を用いてプランクトンの種同定をして, 原生生物生息地マップを作成しました. 野外サンプルの採集や観察が初めてという参加者もいて, プランクトンネットを引くのも, 図鑑とにらめっこしながら顕微鏡を覗くのも大いに盛り上がりしました. また, 皆で協力して作業をする体験は参加者同士の距離を一気に縮めました.

他大学の研究者, 特に学生同士での交流を持つ機会はありません. この合宿での経験は研究を続けていく上で大きな糧になると思います. 今年度も若手の会合宿をする予定ですので, 興味がある方は若手の会にご連絡ください.

最後になりましたが, 施設利用責任者として引率してくださった神戸大学の洲崎 敏伸 先生と, 野外採集と種同定, 実験室の利用に協力してくださった神戸大学の鈴木 雅大 先生に感謝申し上げます.

「原生生物フェスティバル 2017 in 筑波」のご報告

内之宮 光紀(理化学研究所)

2017年11月17日に行われた第50回日本原生生物学会における若手の会企画として、原生生物フェスティバルを開催しました。

原生生物フェスティバルは観察会&分議会とシンポジウムの二部構成で行いました。観察会&分議会においては多くの先生方や研究室の皆さまの協力により多くの生物を展示することができました。また、昨年作成したガイドブックは、筑波大学の学生の方々の協力によって、さらに充実したものになりました。さらに、今回は神戸大学の洲崎 敏伸 先生のご協力により多くのグッズを販売することができ、原生生物学の普及に貢献できたのではないかと考えております。

シンポジウムは「最新の「見る」技術」と題し、「見る」ことに関わるさまざまな技術について3名にご講演いただきました。

松田 厚志さん(情報通信研究機構未来 ICT 研究所)には 3D structured illumination microscopy (3DSIM) を用いた、光の回折限界を超えた構造の観察技術についてお話いただきました。モアレを利用して画像を再構築するなどの原理も含めて非常にわかりやすく解説していただきました。

ソン チホンさん(生理学研究所)には 2017 年のノーベル化学賞の対象にもなった、クライオ電子顕微鏡について解説していただきました。観察前の生物試料を処理する際の困難をどのように解決するか、それによってどのようなものが見えるかを、実際のたんぱく質の例を示しながらお話いただきました。

瀧 雅人さん(理化学研究所)には近年話題の深層学習を用いた画像認識についてお話いただきました。



原生生物フェスティバル 2017 in 筑波

学習に多量の画像データが必要なことがハードルですが、それをクリアできれば原生生物学においても強力なツールになるのではないかと感じました。

原生生物フェスティバルの開催にご協力いただいた、筑波大学の沼田 治 先生、中野 賢太郎 先生、実行委員の先生方、グッズ販売にご協力いただいた洲崎 敏伸 先生、展示用の生物をご提供いただいた研究室の皆様、グッズの作成・展示にご協力いただいた皆様、スタッフの皆様、そして会場にお越しいただいた皆様に厚くお礼申し上げます。

ミクロ生物フェスティバル 2017 in 筑波 世話人・スタッフ(順不同): 内之宮 光紀(理化学研究所), 樋口 里樹(神戸大学), 早川 昌志(Life is small Project), 梁瀬 隆二(兵庫県立大学), 桐間 惇也(兵庫県立大学), 小林 真弓(神戸大学), 柴田 あいか(立命館大学), 末友 靖隆(岩国市ミクロ生物館)

日本原生生物学会若手の会では、皆様のご意見を募集しています。ご意見、ご要望をお寄せ下さい。

また、若手の会役員も随時募集しています。興味のある方は (young.protistologists.jsp@gmail.com) までご連絡ください。

若手の会ホームページ <https://sites.google.com/site/youngprotistologists/>

2018 年度 若手の会役員

会長
柴田 あいか(立命館大学)
副会長
小林 真弓(神戸大学)
会計
樋口 里樹(神戸大学)

Web

桐間 惇也(アップ教育企画)
梁瀬 隆二(筑波大学)
役員
池田 理佐(岡山大学)
井坂 友紀(奈良女子大学)
内之宮 光紀(電力中央研究所)

大北 千紗(奈良女子大学)
唐澤 宗宏(神戸大学)
佐々木 愛澄(奈良女子大学)
末友 靖隆(岩国市ミクロ生物館)
塚越 亮允(鳥取大学)
中村 憲章(福井県立大学)
早川 昌志